

おひさまだより



2020年11月号

社会福祉法人 尚徳福社会

生麦保育園 園長 田淵弘子

園庭の木々の葉が色づいて、秋も深まってきました。さわやかな澄んだ空、ぽかぽかと太陽のぬくもりを感じる日もあれば、肌寒い日も多くなってきました。一日の中でも日中の気温差が大きくなります。体調には十分気をつけましょう。

幼児クラスのバス遠足は前日までお天気の心配がありましたが、当日は時々晴れ間も出てきました。動物園は貸し切り状態で、ゆっくり動物を身近で見ることができました。子どもたちはお弁当をととても楽しみにしていて、大好きなお母さん弁当をととてもおいしそうに喜んで食べていました。

11月の行事

5日（木）英語であそぼう

6日（金）秋の園外保育（幼児クラス）

7日（土）個人面談（ひよこぐみ）

12日（木）焼き芋会

14日（土）個人面談（あひるぐみ）

17日（火）歯科健診

18日（水）避難訓練

20日（金）不審者訓練・バイキング（幼児クラス）

25日（水）内科健診

26日（木）英語であそぼう


27日（金）幼児誕生会

28日（土）個人面談（りすぐみ）

30日（月）乳児誕生会


★乳児クラスの個人面談が始まります。（幼児クラスは12月です）各ご家庭、ご都合をつけていただきありがとうございました。時間は後日お知らせいたします。

★おたのしみ会はコロナウイルス感染症の終息がみえないため、例年通りの小学校での開催はできません。形を変えて行いたいと思います。12月12日（土）を予定していますが、また変更が生じる可能性があり得ることをご了承願います。



ひよこぐみ

ほしいものに手を伸ばしたり、行きたいところへよちよち歩いたりハイハイしたり…ひよこぐみの子どもたちの意思がはっきり見えるようになりました。好奇心の扉が開いてきたようです。10月から4人のお友だちが入園しました。また泣き声が聞こえ始め、にぎやかになりました。泣いているのは新入の子ばかりでなく、やきもちを焼いている泣き声も混ざっているようです（笑）




あひるぐみ

秋の気候も手伝って、子どもたちは元気いっぱいテラスや園庭で外遊びを楽しんでいます。お散歩のときも少し遠いところまで歩けるようになりました。徐々に体力もついてきたようです。でも散歩カーに乗るのも大人気なのです。洋服の着替えも自分でやろうとする子が多くなってきました。



りすぐみ

まさしく食欲の秋！よく食べるりすぐみの子どもたち。空っぽのお皿やお茶碗を「みて～」と言いながら得意気に見せてくれます。過ごしやすいこの時期は子どもたち成長も活発になり、興味を示しては「これなに？」と聞いたり、じーっと観察したり友だちとの関わりも深くなってきました。たくさん刺激を受け、心も身体も大きくなってほしいです。




うさぎぐみ

初めての遠足は坂を上ったり、下ったり…広い園内でしたが、心配していたうさぎぐみもしっかり歩くことができました。子どもたちの体力にはびっくりです。残念ながらコアラを見ることができませんでしたが、カンガルーのポクシングを目の前で見たり、テナガザルのおもしろい鳴き声を真似したり、みんなとてもいい笑顔で一日を過ごしていました。



きりんぐみ

バス遠足の経験画を表現しました。「えんちょうせんせい、みにきて」と誘われ部屋に行きましたが、楽しかった思い出がとても上手に表現されていました。動物を描く子、バスを描く子、お弁当を食べている所を描く子…とさまざまでしたが、どの絵からも子どもたちの楽しかった様子があふれていました。コロナの中での遠足はハラハラでしたが、しっかりマスクをし、しつこいぐらいの手指消毒をしていた子どもたちは、ちゃんと理解をしていたようです。



ぞうぐみ

担任の日誌に『カルタが流行り、読み手が流暢』『腕相撲、指相撲が流行り、肘を強くするために腕立て伏せをしている』など書いてあったので、カルタをする時、腕相撲をする時、園長先生も仲間に入りたから呼びにきて！と言っているのですが…一向によばれない日が続いています（笑）先日サンマを一尾丸ごと食しました。骨が上手にとれる方法を栄養士から教えてもらい、チャレンジしました。骨が身からはがれる様子に大興奮なぞうぐみでした。



看護師のおはなし

一日の中での寒暖差が大きくなり、秋の訪れを実感するようになりました。

この気候の影響もあるのか、鼻水が出るようになったお子さんが目立つようになりました。また、下痢が続くなどのお腹の症状が出ているお子さんも増えています。症状が長引かないように、体調不良時には無理をせず、ご家庭でゆっくり休養できるようにしてください。

バランスのとれた食事、たっぷり睡眠・休息をとれるように心がけましょう。これらに加えて、手洗いやうがい等の感染予防策も励行し、これからの季節に流行する感染症や新型コロナウイルス感染症に引き続き注意していきましょう。